

[奨励賞] ヒューバー針抜針器



代表取締役
高田 弘之氏

テクノグローバル株式会社

〒581-0055 大阪府八尾市跡部南の町1-1-37

TEL. 072 (993) 7935

<http://www.techno-global.co.jp/>

がん患者などの薬剤投与時に使う「ヒューバー針」を安全に抜き取ることができる抜針器を奈良県立医科大学と開発した。看護師などが患者に刺したヒューバー針を抜きとる時、その反動によって起こってしまう針刺し事故による感染症を防ぐのが狙い。片手で簡易操作でき、使用した針は抜針器に収納。再利用を不可能にし、安全性にも配慮した。

安全機能が付いたヒューバー針も市販されているが、針の先端部が見えづらく刺しにくいのが課題。開発した抜針器は台座とレバーの一体構造。ヒューバー針の持ち手を台座で挟みレバーを引くと、皮下に埋め込んだカテーテルにつながる「CVポート」から針が簡単に外れる仕組み。同時に針は抜針器内に収まる。奈良県立医科大学は製品化ニーズや製品後の検証で協力した。販売は医療機器商社のシーマン（大阪市北区）が担当。消費税抜きの価格は600円。2017年4月に量産を始め、初年度5,000個を出荷した。

同社は金型技術に強みを持ち、その金型を使った試作品の設計も得意とする。今回、医療現場の声をしっかり聞き、使い勝手を高めた独創商品（特許取得済み）に仕上げた。今後は外観デザインを透明タイプに替え、抜き取ったヒューバー針が容器中にあることを確認できるようにする。誰もが簡単に使用できるのが製品コンセプトのため、在宅医療が普及する中、将来的には本人やその家族が扱えることもメリットになると想定している。

